

ご意見用紙

玄海原子力発電所に関する県民説明会

※この用紙は、記入後エントランスホールの回収箱にご投入ください。
 ※本日、回収箱への投入が難しい場合は、裏面記載の県内各地に設置してあります県政提案箱にご投函いただくことも可能です。

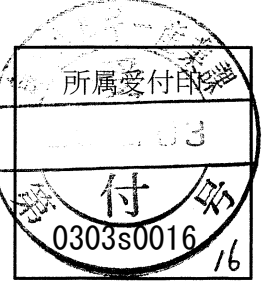
* なお、ご記入の前に裏面の〈お願い〉をお読みください。

テーマ	★該当する項目をチェックしてください（複数選択可）。 <input type="checkbox"/> エネルギー政策に関すること <input type="checkbox"/> 原子力安全対策に関すること <input checked="" type="checkbox"/> 原子力災害対策に関すること <input checked="" type="checkbox"/> その他 <u>別紙 意見書</u>
1.	エネルギー政策の要諦は、安全を大前提とした上で「エネルギーの安定供給を第一とし」とあるが、原発依存を続けると限り安全性が確保できるとは、いえない。福島の事故を教訓とするなら、今以上に原発を総から抜けてやない福島の 復興 の要諦を見直し、これより再可動すべきか、と文を逆問するべき。なぜならこの危険を覚悟しなくては、安全が100%保障できない状況で「存続」に執るのか。仮し「小人数命や一文字や一であるなら、存続は即座に止めろ」とか、事故を起したら後のコストを考えると、存続は比喩的なものはない。存続は人命をおい か
2.	放射能汚染の撤去工事前の防護措置、緊急時対応の措置等について、防護の可動範囲が「提起された」とい、重大事故を想定せざるを得ない事、果敢の問題だ。これほどの対策を講じる費用と研究、対策を再生可能なエネルギー促進に力を注げば、最も安全で費用も少なくて済むではないか。存続を再評価することを前提に話を進められることに大至急違和感を感じる。
3.	使用済燃料は六ヶ所再処理工場であると言われているが、何年前から可動 中 を 試み たか。トウガンシステムで、現在も可動 中 に いる から 撤去 撤去の上の空冷のようになり、（ かつ ） かつ 合同の存続から使用済燃料の撤去され、六ヶ所再処理工場の危険がいっそう増大するのみ。危険極大、子どもや孫の負担の重さを 認識 して は
4.	原子力規制委員会は何の為にあるのか、存続の危険から人命を守るために規制するべきではないか。100ヶ所未満の新機 体 から安全という名の下に、4.5ヶ所 以上 の人命を犠牲にするのか、即座に 再 認可するとは、 政府 と 民間 の 責任 を 分

「可動中」
「撤去」
「トウガンシステム」
「100ヶ所以上」

会場名に○をつけてください⇒

- 唐津・武雄・佐賀・伊万里・鳥栖



政府の閣議決定により、エネルギー政策を...
 今回の説明会(は)極めていい加減。次回必ず説明会を決定して...
 命にかかるといふ...
 12かかるといふ...